

記事を読んで、問いに答えなさい。

2021年7月22日朝刊

富士宮のIT企業開発

「ICTツール」 教員負担軽減へ

富士宮市野中のIT企業「EGエンジン アリソグ」(芝切祐貴代表)がネット上で学校と保護者、児童生徒の3者間での情報共有に特化した教育用ICTツール「スクジュール」を開発した。芝切代表自身も教師だった視点を生かして学校現場の負担軽減を目的に設計。2021年度から地元の井之頭小などで導入が始まった。

同ツールは3者をネット上でつなぎ、円滑な情報共有ができるシステム。これまで紙で配ってきた学校からのお便りや行事予定をネット上で一元管理し、保護者らに直接届けられるほか、児童生徒の学習記録の共有や保護者からの欠席遅刻早退の連絡をスマホ

「お便りや行事予定を配る帰りの会は時間が少ない。保護者への連絡も多く、子どもたちを介さずに直接届けられるのは安心」と語る。望月泰司教頭は「職員の手間が

お便り、行事連絡円滑に



新たに導入した教育用ICTツールを開く教員
|| 富士宮市の井之頭小

削減できることで、子どもに掛ける時間が増える」と期待する。地域との関わりが深い井之頭小中では住民に配る資料も多い。住民向けにも、プリント配布と併せてツールの活用を広げていくという。

都内や県内の高校で(富士宮支局 吉田史弥) 約12年間、教壇に立つてきた芝切代表は「生徒を思うあまり自分を捨てて仕事に励む教員は多い」と振り返る。「テクノロジーの力で少しでも先生の職場環境が改善できれば」と願いを込めた。

①記事の「ICTツール」がネット上でつなぐ3者とは何か。

() () ()

②この「ICTツール」によって共有できる情報は何か。

()

③この「ICTツール」によってどのような効果が期待できるか。

()

④記事の学校では、今後、「ICTツール」の活用をどのように広げようと考えているのか。

()

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2021年7月22日朝刊

富士宮のIT企業開発

「ICTツール」 教員負担軽減へ

富士宮市野中のIT企業「EGエンジン アリソグ」(芝切祐貴代表)がネット上で学校と保護者、児童生徒の3者間での情報共有に特化した教育用ICTツール「スクジュール」を開発した。芝切代表自身も教師だった視点を生かして学校現場の負担軽減を目的に設計。2021年度から地元の井之頭小などで導入が始まった。

同ツールは3者をネット上でつなぎ、円滑な情報共有ができるシステム。これまで紙で配ってきた学校からのお便りや行事予定をネット上で一元管理し、保護者らに直接届けられるほか、児童生徒の学習記録の共有や保護者からの欠席遅刻早退の連絡をスマホ

「新たに導入した井之頭小で1年生クラスを担当する田村成教諭は「お便りを配る帰りの会は時間が少ない。保護者への連絡も多く、子どもたちを介さずに直接届けられるのは安心」と語る。望月泰司教頭は「職員の手間が

お便り、行事連絡円滑に



新たに導入した教育用ICTツールを開く教員
|| 富士宮市の井之頭小

削減できることで、子どもに掛ける時間が増える」と期待する。地域との関わりが深い井之頭小中では住民に配る資料も多い。住民向けにも、プリント配布と併せてツールの活用を広げていくという。

都内や県内の高校で(富士宮支局 吉田史弥) 約12年間、教壇に立つてきた芝切代表は「生徒を思うあまり自分を捨てて仕事に励む教員は多い」と振り返る。「テクノロジーの力で少しでも先生の職場環境が改善できれば」と願いを込めた。

①記事の「ICTツール」がネット上でつなぐ3者とは何か。

(**学校**) (**児童生徒**) (**保護者**)

②この「ICTツール」によって共有できる情報は何か。

(**学校からのお便りや行事予定、児童生徒の学習記録、保護者からの欠席遅刻早退の連絡**)

③この「ICTツール」によってどのような効果が期待できるか。

(**(例)お便りを配る帰りの会の時間が確保できる。／子どもを介さずに直接保護者に情報を届けられる。職員の手間が削減できることで、子どもに掛ける時間が増える。 など**)

④記事の学校では、今後、「ICTツール」の活用をどのように広げようと考えているのか。

(**住民向けにもツールの活用を広げていく。**)

年 組 名前